

授業改善プラン 小学校 第5学年 算数

既習内容を活用する活動を通して、根拠に基づいて説明する力を育成！

<p>単元名「整数の性質を調べよう」</p>	<p>指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査問題概要／市正答率 『事象の観察と判断の根拠を説明する』問題 B 2 (2)／正答率 26.8% ・ 課題 複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語での 確に表現する力が不十分である。 ・ 指導の手立て 算数的活動や児童の発言からキーワードを明確に して、説明に生かせるようにする。また、正否を判 断する問題に取り組みさせることで、根拠を説明する 力を育成したい。 数直線などを示し、「共通の倍数」を視覚的にとら えられるようにする。
<p>指導計画と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の位置付け 第6次 第1時「倍数」の用語とその意味 第2時「公倍数」、「最小公倍数」 の用語とその意味 第3時 公倍数を活用した問題【本時】 ・ 評価規準 「公倍数の考え方を活用して、キーワ ードを用いて求め方を説明することが できる。」 	

指導のねらい「算数の用語を用いて的確に根拠を説明することができる。」

【授業例】

学 習 活 動	指導の手立てと留意点 / ☆は評価
<p>1 学習問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>3, 6, …の合図で手をたたき, 4, 8, …の合図で足ぶ みをします。手と足が同時に鳴るのはいくつの時ですか。</p> </div> <p>2 見通しをもつ</p> <p>3 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>同時に鳴るときの数はどんな数か説明する。</p> </div> <p>4 自力解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時に鳴る時の数を見つける。 ・どんな数か説明を書く。 <p>5 話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を発表する。 <p>6 まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時に鳴る数は3と4の公倍数になっている。 ・公倍数は「12」ずつ増えていく。 <p>7 適用問題を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>40の時, 手と足は同時に鳴りますか。理由を書 いて答えましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・手をたたくときの数, 足ぶみをするときの数が, それぞ れ3と4の倍数になっていることをおさえる。 ・ペアまたはグループで算数的活動(身体表現も含む)を させ, 見通しを持たせる。 ・同時に鳴る数12を見つけれない児童には, 数直線 を2本かき, 手と足が鳴る数に丸をつけさせ, 視覚的 にとらえさせる。 ・12がどんな数か説明できた児童には, 同時になる他 の数を見つけるよう助言する。 ・「倍数」「共通」「公倍数」「最小公倍数」のキーワー ドを使ってまとめにつなげる。 ・12以外の公倍数を数直線で見つけ, そのよさを確認 するとともに, 計算で見つける方法も考えさせる。 ・キーワードを使い理由を書くよう指示する。 <p>☆公倍数の考え方を活用して, 求め方を説明するこ とができる。(数学的な考え方, ノート・発表)</p>